

2010年7月10日

関係各位

放射線療法部会

第3回放射線療法部会・会議

日時：2010年7月10日

場所：麻布大学 8504 講義室

参加：伊藤夏樹、河津幸雄、金久保佳代、坂大智洋、菅井匡人、高橋朋子、長田雅昭、永吉貴子、夏堀雅宏、福山泰広、保坂創史、圓尾拓也、三宅龍二、和田成一（五十音順、敬称略）

欠席：入江充洋、廉澤剛、芝裕輝、中山智宏、野村耕二、藤田道郎、細谷謙次、南毅生、森麻江（五十音順、敬称略）

1. 報告事項

- 1) 新メンバーの紹介：細谷先生（北海道大学）、菅井匡人先生（JARMeC）にご参加いただきことになりました。
- 2) 理事会に、以下のことを報告いたしました。
 - (1) 日本獣医がん学会 web の充実について
 - a) 放射線治療施設の掲載
 - b) 放射線治療の解説
 - (2) 各放射線治療施設の年度ごとの照射例数などの集計（稼働実績）と web への掲載
- 3) 放射線治療の勉強会の部屋の設置につきましては、詳細を一任とさせていただきましたが、理事会では、具体的なことを決めてから再度提出してほしいとのことでした。
米国の専門医をとられた細谷先生に来年夏の本学会での講演依頼を致しました。
- 4) その他、理事会でのことで放射線部会に関連する事柄と致しまして、以下の3点がありました。
 - (1) 創刊された学会雑誌に技術講座として病理検査について病理部会により第5回まで連載が決まっているそうです。今後、各学術部会に回ってくるということです。
 - (2) 各部会に予算として50万円ほど割り当てがあるということです。
使い道の案は随時メールにて受け付ける。
 - (3) 今後の学会メインテーマとして、以下のものがあります。内容について希望があれば、提案して欲しいとのことです。ただ、直近のものについては決まっているとのことです。1年以上後のものについて提案があればよろしく願いいたします。

| | |
|------------|-------|
| 第4回（11年1月） | 雄性生殖器 |
| 第5回（11年7月） | 肺腫瘍 |
| 第6回（12年1月） | 雌性生殖器 |
| 第7回（12年7月） | 肥満細胞腫 |
| 第8回（13年1月） | 脾臓腫瘍 |

- 5) 日本獣医師会年次大会(宮崎)で1月31日に「各地域での放射線治療に関する現状と将来展望」についてパネルディスカッションがありました。そこで、本放射線療法部会について説明をさせていただきました。その質疑のなかで、学会ホームページに放射線治療施設のリンクを張るのは獣医療に関する広告規制に引っかかるのではないか、という質問がありました。その場では即答できませんでしたので、検討すると返答致しました。そこで、次のリンクの「獣医療に関する広告の制限及びその適正化のための監視指導に関する指針(獣医療広告ガイドライン)」にたどり着きました。そこには、ホームページは目的を持って見るので広告とはみなされないとありました(バナー広告はダメ)。蛇足ながらご報告させていただきます。

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/index.html>

獣医療に関する広告の制限及びその適正化のための監視指導に関する指針(獣医療広告ガイドライン)(平成20年12月1日最終改正)

- 6) 教科書の作成

【経緯】

基本的なことを学ぶことができ、追加や差し替えができる形、すなわち、リーフレット形式が理想ではないかという意見があった。最終的に日本獣医がん学会の指定教科書のようなものができれば、試験の出題範囲も分かりやすく、便利ではないかという意見もあった。

現在、認定委員会にて検討中です。

- 7) 各放射線治療施設の年度ごとの照射例数などの集計(稼働実績)

【経緯】

人医領域では内視鏡の手術を年何件実施しているなどという情報がwebに出ており、本学会としても検討するべきとの意見が出た。オルソについても集計する必要があると意見が出た。ただし、オルソに関してはwebに載せるかどうかは検討することとした。

各施設の稼働状況について

(資料1)

ここでの意見として、リニアックが稼働しているものの参加されていない施設について、本会への入会を働きかけることが話題になった(大阪府立大学の山本先生、岐阜大学の森先生)。

2. 審議事項

- 1) 学会雑誌の技術講座について

【経緯】

現在、病理関係の連載があり、次回は内科部会が担当。その後、担当する可能性があるとのこと。

どのような内容を誰に書いてもらうかを検討した。

内容については、会員が知りたがっている事を載せるべき(高橋先生)、腫瘍による照射方法の違いなどを載せてはどうか(夏堀先生)。

誰が書くかについては、和田先生が人の学会で発表されるので、人の照射方法の総説をお願いしてはどうか(和田先生に一任)。細谷先生に来年夏の本学会講演以降、総説を書いていただいてはどうか、という案が出た。

- 2) ホームページに載せる「放射線治療の解説」

(資料2)

【経緯】

ホームページに放射線治療についての解説を載せたいのですが、希望して下さる方（自薦・他薦）がなかった。

そこで、不十分な内容ですが、別紙2について意見をいただければと思っています。当日は、時間がありませんでしたので、ご意見等はメールにていただければと思います。

以上。